



令和7年度3回目の村有図書を 60冊購入しました！

今年度3回目となる「村有図書」に購入を行い、役場玄関横の「図書コーナー」の新着図書コーナーに配架しました。有名書店で売り上げ上位にランクされた作品や道新読書ナビで紹介された本など、話題作をピックアップしてみました。どうぞ、役場の図書コーナーにお越しください。

(赤井川村教育委員会)

<北海道の本>

- ・『お隣は外国人 北海道で働く、暮らす』 北海道新聞社編集委員会
- ・『お隣の非正規公務員 地域を変える、北海道から変える』 川村雅則
- ・『ドキュメント 北海道路線バス』 椎橋俊之

<小説・物語> (□:放課後子ども教室配架)

- ・『救われてんじゃねえよ』 上村裕香 「女による女のための R-18 文学賞」大賞受賞作
- ・『ようこそヒュナム洞書店へ』 ファン ボルム 2024 本屋大賞翻訳小説部門第1位
- ・『イン・ザ・メガチャーチ』 朝井リョウ
- ・『激しく煌めく短い命』 綿矢りさ
- ・『僕の悲しみに君は跳んでくれ』 岡本雄矢
- ・『総理にされた男 第二次内閣』 中山七里
- ・『天狼 東京湾臨海署安積班』 増本淳
- ・『酒亭 DARKNESS』 恩田陸
- ・『流水の果て』 一雫ライオン
- ・『RUST RUN!!!』 占冠愁/始発ちゃん
- ・『ブラックスワン』 相場英雄
- ・『失われた貌』 櫻田智也
- ・『エピクロスの処方箋』 夏川草介
- ・『記念日』 青山七恵
- ・『アラート』 真山仁
- ・『情熱』 桜木紫乃
- ・『ユビキタス』 鈴木光司
- ・『渋谷神域』 灯野リュウ
- ・『今日未明』 辻堂ゆめ
- ・『サバイブ!』 岩井圭也
- 『ドロシーマンション』 GAHEEZY/加藤慧訳

<健康・自己啓発>

- ・『客観より主観 “仕事に差がつく” シンプルな思考法』 内田和成
- ・『「のび太」という生き方』 横山泰行
- ・『脳はAIにできないことをする』 茂木健一郎
- ・『不夜脳』 東島威史
- ・『眠れない夜に、言語化の話をしよう：脳科学者はため息を言語化し、開発者は深呼吸を可視化する』 中野信子・川田十夢



<歴史・歴史小説>

- ・『知られざる朝鮮戦争 ～日系米兵に捧げるレクイエム』 前川恵司

<エッセイ・芸能>

- ・『捨てられた僕と母猫と奇跡』 船ヶ山哲
- ・『1945年に生まれて 池澤夏樹 語る自伝』 池澤夏樹・尾崎真理子
- ・『わたくし96歳 戦争反対』 森田富美子・森田京子

<新書>

- ・『軍拡国家』 望月衣塑子
- ・『過疎ビジネス』 横山勲
- ・『知って得する、すごい法則77』 清水克彦
- ・『詭弁と論破』 戸谷洋志



<文庫・歴史文庫>

- ・『巡査の休日 新装版』 佐々木譲
- ・『警官の標』 月村了衛
- ・『あの空に花が降るとき、僕はきっと泣いている』 森田碧
- ・『君と考える戦争のない未来』 池上彰
- ・『空を駆ける。』 梶よう子
- ・『銀河ホテルの居候 落葉松の森を歩いて』 ほしおさなえ
- ・『三匹の闘将 傭兵代理店・新』 渡辺裕之
- ・『高校事変 23』 松岡圭祐

<その他>

- ・『桐生市事件 生活保護が歪められた街で』 小林美穂子・小松田健一
- ・『地球行商人 味の素グリーンベレー』 黒木亮
- ・『もしロシアがウクライナに勝ったら』 カルロ マサラ

<子ども向け図書> (■:健康支援センター配架 □:放課後子ども教室配架)

- 『なにかいいことあった?』 ミーシャ アーチャー／石津ちひろ訳
- 『わたしのちいさないきものえん』 大島加奈子
- 『さわれるまなべる みちかなどうぶつ』 グザヴィエ ドヌー／松永りえ訳
- 『テーブルのしたになにかいる?』 アラン アールバーグ・ブルース イングマン
- 『ライオンのくにのネズミ』 さかとくみ雪
- 『どんないろがすき』 100%Orange
- 『ぼくのいぬはどうしてこんなにかわいいのか』 しゅん／えがしらみちこ
- 『猫星夜』 にしざかひろみ／コニカミノルタプラネタリウム
- 『金色の切手とオードリーの秘密』 オンジャリQ.ラウフ／久保陽子訳
- 『キャロットバトン』 こまつあやこ
- 『銀樹』 森埜こみち／日下明絵
- 『ビリーと森のミンピン』 ロナルド ダール／クエンティン ブレイク



◎希望書籍は「村有図書貸出簿」の最後にある『購入希望欄』に書いてください。購入する際の参考にいたします。

◎「村有図書新刊の一覧」は赤井川村ホームページにpdfデータで掲載しております。

